



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第6号

令和5年10月20日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

「色々な秋 力を合わせ 心をつにして 楽しもう」(10月の校長講話から)

校長 富永 浩文

「〇〇の秋」、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。人それぞれ、収穫の秋、爽やかな秋にふさわしい〇〇を思い浮かべることと思います。でも、「食欲の秋」が一番でしょうか。

さて、今月の校長講話では、色々な秋から、「スポーツの秋」を取り上げて話をしました。

////////////////////////////////////

スポーツからは学ぶことがたくさんあります。例えばワールドカップ、ラグビー日本代表。図書室にもジャージが飾ってありました。学習で取り上げている学級もありました。この大会で日本代表は、健闘しましたが負けてしまいました。でも、一生懸命な姿は、見る人を感動させました。

ラグビーは、1チーム15人で行うスポーツです。その中には、いろいろな選手がいます。身長の高い人、低い人、体重の重い人、身軽な人、足が大変速い人、力持ちな人、ボールをキックするのがうまい人、いつも笑顔でプレーする人、全く笑わない人、それぞれ違った個性、長所、持ち味が合わさって一つのチームになります。また、たくさんの控え選手も含め、今回活躍しているメンバーには、生まれた国が違う人もいっぱいいました。



いろいろなあいさつが一本の木に

今回の日本チームは、つらい練習、激しい練習に果敢に挑戦し、大会に臨みました。私は、テレビで選手へのインタビューを聞きました。そこでわかったことは、皆コーチに言われて、あるいは人にやらされて練習を行ってきたのではなく、自分から、また、自分たちで考えて、進んで練習に取り組んできたのだということです。当然、色々な個性、考えがひしめいているので、意見の食い違い、ぶつかり合いがあります。だから、徹底的に話し合っ、納得しながら練習をしてきたのだそうです。だから強いのだな、自信にあふれ輝いて見えるのだなと感じました。

さて、私は、毎日皆さんの学級を回ります。学級の中にも違った個性、長所をもった人がたくさんいるのが分かります。時には、意見が対立している場面も見ます。当たり前のことですが、それがいいのです。それぞれが認められ、大切にされている様子がよく分かります。ぜひ、これからも一人ひとりの違いを認め合い、大切にするクラスや学年を目指してほしいと思います。そして、心をつにしていろいろなことに挑戦していきましょう。

ちなみに、秋は「芸術の秋」とも言われます。音楽や絵を楽しむのに大変良い季節でもあるからです。21日(土)は、わかばコンサートです。日一日と歌声の響き、演奏の音色が美しくなっていくのが分かります。力を合わせ、心をつにして素晴らしい発表会にしましょう。

////////////////////////////////////

わかばコンサートには、たくさんの皆様からお越しいただきますようお願いいたします。